

小中学校の教科書からみる中国の安全教育の現状と課題

The present situation and problems of safety education in China based on the analysis of textbooks for elementary and junior high schools

人文社会学部 人間社会学科

教育学教室

ハスゲレル

はじめに

本稿では中国の小中学校で使用されている安全教育の教科書分析を通して、その現状と課題を明らかにする。日本では、3.11以降、地域及び学校で防災教育に関する意識が高まり、東北だけではなく、日本全体でその取り組みが始まっている。中国では、各省、自治区と直轄市によって対策が異なる。ここでは、内モンゴル自治区の小中学校で使用されている『安全教育』を中心とする。

1 教育課程基準

中国の教育改革は「国家中長期教育改革・発展計画綱要(2010年～2020年)」(「計画綱要」と略す)のもとで行われている。同「計画綱要」は、10年間における教育改革を指導する重要な綱領的文書であり、中国共産党中央及び国務院(内閣)が教育機会平等の保障と教育の質の向上を重視し、2010年7月に教育政策や教育改革の方向性を示して公布したものである。教育部(日本の文部科学省に該当する)は、教育の調和のとれた発展を義務教育の最重要課題に据え、経済的発展の遅れた地域に財政的、物的、人的支援をするよう各地方に求めている。ここからも、教育の公平性を実現しつつ全体として教育の質をいかに向上させるかが、改革の課題となっていると言えるだろう¹。

中国では「義務教育法」(1986年、2006年改訂)を制定してから、9年間の義務教育

の普及を目指してきた。しかし、改革開放(1978年)後は経済発展に伴い、地域間格差や経済格差が著しくなり、教育部は2005年に「教育部關於貫徹落實科學發展觀進一步推進義務教育均衡發展的意見」(「義務教育の均衡発展をさらに推進することに関する若干の意見」)を發表し、2020年までに地域内の義務教育の格差を基本的に解消する目標を示した。教育課程の改訂は、1993年、2010年と2011年に行われている。2001年までは「教学大綱」が使用されていたが、2001年からは「課程標準」としている。それは「前言」「目標(及び内容)」「実施に当たっての意見(指導案の作成、評価の方法等)」から成る。各教科の目標や内容の基準を国が定める部分は88~90%、各省、自治区と直轄市及び学校が定める課程は10~12%とするとしている(表1)²。

「計画綱要」の目標に徹し、19教科の「課程標準」を2011年に改訂し、2012年9月の新学期から執行するようになっている。しかし、これはすべて国家が基準とする教科であり、本稿で検討する『安全教育』は地方及び学校で定める課程で作成された教材であるため、国家の「課程標準」に含まれていない³。

本稿で分析対象とする教材は内蒙古教育出版社編訳出版が編纂した『内蒙古自治区中小学地方課程教材安全教育』の教科書である(表2)。2007年に教育部が制定した「中小学公共安全教育指導綱要」(「安全綱要」と略す)のもとで編纂されたものである。2007年の「安全綱要」が制定されたあと、内モンゴル自治区も地方教材を出版し、小中学校で配布している。内モンゴル自治区以外の地域もそれぞれ地域教材として教科書を出版している。例えば、四川省は2015年に『生命・生態・安全』を出版し、小中学校で使用している。「四川省義務教育の地方課程方案(2015年)改訂」では『生命・生態・安全』を必修科目として定めているが、実際には学校ではほとんど使用されていない要因を、①教員数の不足や教員養成課程に安全教育の内容が伴っていないなどに対する国家の政策が不足している、②当該地域の教育行政や学校の安全教育に関して理解や経験が不足しているため、実効性が乏しい、③学校では、語文(国語)、算数・数学などの受験科目が重視され、安全教育はほとんど教えていない。また、学習評価に関しては多面的な評価を行っていくことが必要であるなどの改善が求められている、の3点を取り上げている⁴。

表 1 義務教育段階の教育課程基準

	学年									時間配分
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
科目	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	品德と生活	7～9%
							歴史と社会 (または歴史と地理の選択)			3～4%
			科学	科学	科学	科学	科学 (または生物、物理、化学の選択)			7～9%
	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	言語・文学	20～22%
	算数	算数	算数	算数	算数	算数	数学	数学	数学	13～15%
			外国語	外国語	外国語	外国語	外国語	外国語	外国語	6～8%
	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	10～11%
	芸術(または音楽、美術を選択)									9～10%
			総合実践活動	総合実践活動	総合実践活動	総合実践活動	総合実践活動	総合実践活動	総合実践活動	7～8%
地方及び学校が定める過程									10～12%	
週時間	26	26	30	30	30	30	34	34	34	273
年時間	910	910	1050	1050	1050	1050	1190	1190	1122	9522

表注：時間数は単位時間。1 単位時間は、第 1～6 学年(小学校)40 分、第 7～9 学年(初級中学)は 45 分。出典：教育部「義務教育課程設置実験方案」、2001 年。

表 2 『安全教育』

教科書名	著作者	出版社	出版年
内蒙古自治区中小学地方課程教材 安全教育	内蒙古教育出版社編 訳出版	内蒙古教育出版社	2013 年

2 「中小学公共安全教育指導綱要」

2007 年 2 月 7 日、教育部が作成した「安全綱要」は国務院によって公表された⁵⁾。本文によると、小中学校の公共安全教育をより一層強め、小中学校の公共安全意識を培い、小中学校で発生する事件事故の際に対応できるような能力を高めるために以下の法規定に基づき作成された。それは「義務教育法」と「未成年者保護法」、特に重視したのは「国家突発公共事件総体応急予案」「中小学幼兒園安全管理法」と「教育系統突発公共事件応急予案」である。

「安全綱要」は、指導思想・目標と基本原則、主な内容、実施方法、保護(保障)メカニズムと学校内の安全教育で構成されている。主な内容を見ると、①公共の安全教育の主な内容は、日常生活における安全、公衆衛生、非日常の安全、インターネット

ト・セキュリティー安全、自然災害とそのほか子どもの安全に影響を及ぼす事故や事件への予防と対応である。②公共の安全教育は必ず地域に根ざし、科学的に計画する必要がある。具体的な内容は各学年に合わせて合理的に配置する。各学年のモジュール学習内容の設置も各地域と児童生徒の現状に合わせて選択することができる。

小学校 1 学年から 3 学年までの教育内容は、日常生活における安全、公衆衛生、非日常の安全、自然災害とその他児童生徒の安全にかかわる事故などの予防と対応である。4 学年から 6 学年と中学校の教育内容はインターネットとセキュリティー安全が追加され、その他は 1 学年から 3 学年までの内容と同じである。

3 「安全教育」の内容の検討

ここでは、「安全綱要」の内容の分類に基づき、教科書記述の各項目の検討を行う。その内容は日常生活における安全、公衆衛生、非日常の安全、インターネット・セキュリティー安全、自然災害とその他である。

(1) 日常生活における安全

ここでは、日常生活のなかで突然におきる事故の危険と被害について理解する。あらゆる公共の場での安全に関して理解し、順守する。面識のない人との交際の際に気を付けることなどである。

表 3 の 1(下) 4、5、6⁶のように、電源に触れない、知らない人にドアを開けないなど自宅にいるときの注意事項の説明がある。2(下)1 では、子どもが使い慣れないハサミやナイフの使用中の注意、2(下)2 では、電気製品や火の使い方の説明がある。

(2) 公衆衛生

ここでは、公共の場での衛生と食品衛生の常識を理解する。また胃腸や呼吸器などの病気予防の常識を知り、自分自身の衛生、健康及び飲食習慣に気を付ける。

2(上)1、2、3 と 8(上)1 のように衛生に関する理解を深めことと、手洗いの大切さの説明がされている。また食品衛生に関しては、2(上)4、6(上)1、2 と 8(上)3 のように、食品衛生に気を付けることとその大切さ、食中毒の内容も紹介されている。

(3) 非日常の安全

交通ルールを守る良好な習慣を培い、譲り合う意識を高める。自分の命を自分で守り、野外遊び、スケートなどでの危険意思を高め、やけどや危険物の飲み込み、溺れたり動物にかまれるなどの予想外の危険を防ぐこと、またその処理法を学ぶ。表 3 の 1(上)

2、3、4、5のように、交通信号、車に乗るときの安全、道路など危険な場所での遊びの禁止、危険なものには近づかないなど、外出時に起こりうることの内容が説明されている。

(4) インターネット・セキュリティー安全

インターネット資源の理解とインターネット情報の危険性を知る。インターネットの初歩的な操作を学び、多種多様な情報を識別できるようにする。インターネットゲームとその他のゲームにはまらないように気を付ける。

6(上)3、4ではインターネットを理解し、安全に使用するような説明がされている。9(上)では、全課を通してインターネットの安全使用のルール、ウィルス感染予防とSNS使用時の注意事項など、詳細な紹介がされている。

(5) 自然災害

地域の自然環境に影響する要因を理解し、自然環境を守る意識や自然災害から身を守る意識を高める。またその対応を学ぶ。自然災害の警戒レベルやそれに対応できるように措置する。

3(上)1のように地震、3(上)3のように地震が起きた後の二次災害、土砂崩れ、津波、大雨、雷、雹などの説明がされている。それ以外にも内モンゴル自治区の地域で起こりうる自然災害に関する説明と予防に関する説明がある。例えば 3(下)4は雪災害、3(下)5と6では大風、砂嵐、4(下)2では砂ぼこり、6では砂嵐などがある。

表3 小中学校用『安全教育』教科書の目次一覧

1 学年(上)

巻・課	題目
1(上)・1	安全運転
1(上)・2	交通信号の学習
1(上)・3	乗車時の安全
1(上)・4	道路で遊ばない
1(上)・5	危険物に近づかない
1(上)・6	知らない人を信じない
1(上)・7	学校での10分間の休憩
1(上)・8	体育の授業での注意事項

1 学年(下)

巻・課	題目
1(下)・1	公共の場での安全に注意
1(下)・2	自宅を遠く離れない
1(下)・3	旅行中の安全に注意
1(下)・4	自宅での安全に注意
1(下)・5	電源に触れない
1(下)・6	知らない人にドアを開けない
1(下)・7	悪い人、悪いことへの理解
1(下)・8	災害時に対応策を考える

2 学年(上)

巻・課	題目
2(上)・1	衛生管理をみんなに周知させる
2(上)・2	私は働き者であり、清潔でもある
2(上)・3	手の清潔の大切さ
2(上)・4	食品衛生の大切さ
2(上)・5	飲食への認識を高める
2(上)・6	生活習慣
2(上)・7	目を大切にしよう
2(上)・8	歯を大切にしよう
2(上)・9	耳と鼻を大切にしよう
2(上)・10	下痢に注意
2(上)・11	インフルエンザを予防しよう

2 学年(下)

巻・課	題目
2(下)・1	ハサミやナイフの安全使用
2(下)・2	電気製品の安全使用
2(下)・3	火の用心
2(下)・4	階段を安全に利用しよう
2(下)・5	遊び場の安全注意
2(下)・6	交通ルールを守る
2(下)・7	事件事故から自分を守る
2(下)・8	緊急時の通報の仕方
2(下)・9	火事から身を守る

3 学年(上)

巻・課	題目
3(上)・1	地震の時に身を守る
3(上)・2	科学的に自分を守る
3(上)・3	地震後の二次災害に気をつける
3(上)・4	土砂崩れ、がけ崩れに気をつける
3(上)・5	津波から身を守る
3(上)・6	災害後の衛生に注意
3(上)・7	精神衛生に気をつける
3(上)・8	運動の時の怪我に気をつける
3(上)・9	遊びの時の事故に気をつける

3 学年(下)

巻・課	題目
3(下)・1	大雨に避難する方法は？
3(下)・2	雷をどうやって避けるのか？
3(下)・3	雹に気をつける
3(下)・4	雪災害を乗り越える方法は？
3(下)・5	大風に注意する
3(下)・6	砂嵐の時の外出に気をつける
3(下)・7	地球温暖化をどう防ぐか？
3(下)・8	洪水から身を守る
3(下)・9	環境汚染をどう防ぐか？

4 学年(上)

巻・課	題目
4(上)・1	故郷の生態系の現状
4(上)・2	幸せな家庭
4(上)・3	ごみのポイ捨て禁止
4(上)・4	使い捨ての商品
4(上)・5	不法狩猟、不法伐採
4(上)・6	水を大切に
4(上)・7	禁酒、禁煙
4(上)・8	矛盾の対策
4(上)・9	災害に柔軟に対応する

4 学年(下)

巻・課	題目
4(下)・1	雷への対応
4(下)・2	砂ぼこりへの対応
4(下)・3	台風
4(下)・4	地震の時どうする
4(下)・5	緊急時
4(下)・6	砂嵐の情報
4(下)・7	雷雨の情報
4(下)・8	台風の情報

5 学年(上)

巻・課	題目
5(上)・1	歩道のルールを守る
5(上)・2	自転車の交通安全
5(上)・3	安全装置のある自動車
5(上)・4	川での水遊びの危険性
5(上)・5	水泳のルール
5(上)・6	溺れる人を救えるようになる
5(上)・7	凍結した川遊びの危険性
5(上)・8	スケートのルール
5(上)・9	特別な施設を安全に使う
5(上)・10	危険な場所に近づかない

5 学年(下)

巻・課	題目
5(下)・1	火傷に気をつける
5(下)・2	火傷には素早く対応
5(下)・3	冬の寒さに気をつける
5(下)・4	ペットを飼う時の注意事項
5(下)・5	動物に噛まれた時の対応
5(下)・6	骨の怪我はどうすればいいのか
5(下)・7	出血や呼吸困難時の対応処置
5(下)・8	火事に要注意
5(下)・9	火事現場からの脱出

6 学年 (上)

巻・課	題目
6(上)・1	衛生上のいい習慣を育てる
6(上)・2	食品衛生に注意
6(上)・3	ネットを安全に利用する
6(上)・4	ネット安全情報を正しく理解
6(上)・5	ゴミを減らす
6(上)・6	自然を守る
6(上)・7	有害物はさける
6(上)・8	思春期の心身の発達
6(上)・9	性暴力を防ぐ

6 学年 (下)

巻・課	題目
6(下)・1	公共の場でのルールを守る
6(下)・2	マナーを守る
6(下)・3	危険や損害への対応
6(下)・4	法律に基づき、自分の利益を守る
6(下)・5	見知らない人に気を付ける
6(下)・6	不正行為に気を付ける
6(下)・7	下劣な行為を断る
6(下)・8	目を保護する
6(下)・9	肥満に注意し、運動する
6(下)・10	インフルエンザの予防

7 学年(上)

巻・課	題目
7(上)・1	社会の安全意識を高める
7(上)・2	近づかない場所
7(上)・3	公共の場の秩序を守る
7(上)・4	社会安全に危害を与える行為を止める
7(上)・5	詐欺行為に注意する
7(上)・6	わいせつ行為から逃げる
7(上)・7	校庭内の防犯対策
7(上)・8	公共の場での泥棒に注意
7(上)・9	誘拐事件に遭遇した時の対策
7(上)・10	強奪事件に遭遇した時の対策
7(上)・11	喧嘩は互いに不利

7 学年(下)

巻・課	題目
7(下)・1	交通ルールを守り、安全行動をする
7(下)・2	プールのルール
7(下)・3	火災を防ぐ
7(下)・4	火傷に注意
7(下)・5	道具使用時の安全に注意
7(下)・6	ガス中毒に注意
7(下)・7	動物に接する時の注意
7(下)・8	スポーツの時の怪我に注意
7(下)・9	悪戯は禁止
7(下)・10	注意を喚起して警戒する

8 学年(上)

巻・課	題目
8(上)・1	公衆衛生について理解する
8(上)・2	感染症に要注意
8(上)・3	食中毒に要注意
8(上)・4	水汚染への意識を高める
8(上)・5	薬品の使用に要注意
8(上)・6	エイズについて理解する
8(上)・7	ドラッグ禁止
8(上)・8	禁酒禁煙
8(上)・9	青春を楽しむ
8(上)・10	命を大切にし、健康を維持する

8 学年(下)

巻・課	題目
8(下)・1	自然災害を知る
8(下)・2	干ばつ災害
8(下)・3	土砂崩れの危険性
8(下)・4	地震について
8(下)・5	大雨と雷雨
8(下)・6	雪災害
8(下)・7	黄砂の日の注意事故
8(下)・8	洪水の時に自分の命を守る
8(下)・9	津波の時に自分の命を守る
8(下)・10	環境保護は皆の責任

9 学年(上)

巻・課	題目
9(上)・1	ネットを安全に使う
9(上)・2	コンピューターのウイルス感染の防止
9(上)・3	ネットワークのルールを守る
9(上)・4	ネットワークの検索を保護する
9(上)・5	ネットワークを有効に使う
9(上)・6	ネット勉強をする
9(上)・7	SNS友だちづくりに注意
9(上)・8	オンライン注文の学習
9(上)・9	インターネット中毒に注意
9(上)・10	インターネット詐欺に注意

9 学年(下)

巻・課	題目
9(下)・1	自分を守るようになる
9(下)・2	安全な学校づくりをする
9(下)・3	行動に注意
9(下)・4	インターネット依存に注意
9(下)・5	仲良く付き合う
9(下)・6	青春の協奏曲を演奏する
9(下)・7	心身ともに健康で育つ
9(下)・8	虚栄心をなくす
9(下)・9	喜びと悲しみを分かち合う
9(下)・10	自信を持って明るい未来をつくる

おわりに

本稿では、小中学校の安全教育の教科書分析を中心とし、中国の安全教育の現状と課題を明らかにした。教科書の内容は日常生活における安全、公衆衛生、非日常の安全、インターネット・セキュリティ安全、自然災害とその他であった。自然災害の記述では、内モンゴル自治区の地域性を反映した記述があったことは、評価できる。しかし、内モンゴル自治区には漢民族以外にも 16%以上の少数民族が居住しているため、その民族に関連する記述も取り入れることが望ましい。2001 年の教育課程基準の改定で、地域及び学校の課程が設けられ、当該地域と学校に適した内容を 10%~12%を取り入れることが可能になっている。しかし、地域と学校の特徴が反映された教材が不十分である点が今後の課題として残されている。内モンゴル自治区では、2007 年に安全教育の教科書が出版され、配布されている。筆者が 2018 年の学校訪問で、教科書は配布されるだけで、授業では使用されておらず、防災訓練も行われていないことがわかった。安全教育以外にも地域の歴史の教科書も出版されているが、実際には使用されていない。受験競争が激しい中国では、受験対象ではない教科は教科書が出版され、配布されていても教えていない地域と学校が多い。

本稿では、内モンゴル自治区の小中学校で使用されている安全教育の教科書を対象としたが、今後は他の地域で出版されている教材に関する研究も行う必要がある。

【注】

- 1) 「国家中长期教育改革・発展計画綱要(2010 年~2020 年)
http://www.gov.cn/jrzq/2010-07/29/content_1667143.htm 2019 年 12 月 1 日閲覧。
- 2) 国立教育政策研究所教育課程研究センター、2012 年度プロジェクト研究調査研究報告書『諸外国における教育課程の基準—近年の動向を踏まえて—』2013 年、pp.147-157。
- 3) 教育部义务教育各学科课程标准 (2011 年版)
<https://edu.qq.com/a/20120202/000112.htm?pc> 2019 年 12 月 1 日閲覧。
- 4) 黄耀学「中小学安全教育課実施現状及改進策略」教育部教育管理信息中心編『基礎教育参考』72 卷、2019 年、pp.72-74。
- 5) 中華人民共和国国務院「中小学公共安全教育指導綱要」http://www.gov.cn/zhe ngce/content/2009-03/28/content_5533.htm 2019 年 12 月 10 日閲覧。
- 6) 1(下)4、5、6 とは、1 学年で使用されている教科書の上巻の第 4 課、第 5 課と第 6 課を意味する。

【参考文献】

小川佳万「教員評価の意義：中国、モンゴル、イタリア、イギリスの事例から（特集 世界標準に向かう各国の教員評価）」『国際教育』21、2015年、pp.1-8。

馬越徹・大塚豊『アジアの中等教育改革—グローバルへの対応』東信堂、2013年、pp.21 - 53。

張揚『現代中国の「大学における教員養成」への改革に関する研究』学文社、2014年。

文部科学省『諸外国の教育動向 2011年度版』明石書店、2012年。

徐揚「関注学生安全問題新变化—基於北京市 9599 名中小學生安全教育現狀的調查分析」月刊『中小學校管理』北京教育學院出版、2019年5月期、pp.44-47。